

# 「MatrixEngine」、ラティス・テクノロジーの軽量3次元 ファイル形式「XVL」に対応

## MatrixEngine のデータ・インポート機能に XVL 形式をサポート

株式会社ネットディメンション（本社：東京都港区、代表取締役：林 徹、以下ネットディメンション）の 3D オーサリング技術「MatrixEngine：マトリックス・エンジン」は、ラティス・テクノロジー株式会社が提供する「XVL (eXtensible Virtual world description Language)」データ形式をインポート対応しました。

MatrixEngine は、リアルタイム 3DCG を使用したマルチメディア・アプリケーションを、高効率・低コストで開発するオーサリングシステムです。さまざまな形式のデータを統合する高いマルチメディア統合力に加え、独自の 3D 空間処理によるその圧倒的な軽快性と安定性が特徴です。3D のみならず 2D 画像・動画・音声など、あらゆるマルチメディア素材に対応しており、それらを自在にコントロールする機能を備えています。独自の高性能なオーサリング（制作）環境を提供しているため、クリエイター自身が実機で作動するコンテンツを高効率に作り込むことができます。

XVL は、CAD の 3 次元データの形状を極めて軽量化し、かつ高精度に表示するために開発されたファイル形式です。VRML や IGES といった 3 次元のフォーマットに比べ、軽量（元データの約 1/100）でありながら高い精度を維持することが可能です。このため、設計部門に蓄積された 3D CAD データをもとに、例えば設計部門以外における設計データの検証、あるいは営業部門のプレゼンテーション、カスタマーサービス部門で活用される 3D 画像入りの保守マニュアル作成など、あらゆる業務での 3 次元データの活用を可能にしました。自動車産業界をはじめとする製造業で 3 次元 CAD が普及するに従い、大規模なアセンブリデータを扱うような業種を中心に普及が進んでいます。

3D CAD データの軽量化を実現した XVL は、強力なインポート機能を持つ MatrixEngine のオーサリング環境で利用されることによって画像や音声、ムービーなどこれまで以上に多様なデータと共に利用できるようになります。またインタラクティブな制御や、ネットワーク対応など、さまざまな仕組みと組合せマルチメディア・アプリケーション化することで、3D CAD データ活用の可能性がさらに大きく広がります。

例えば、製造部門で使用される作業指示書などを、軽量の XVL データとともにコンテンツ化し、ネットワークにより遠隔地でも確認できる分かり易い映像マニュアルを容易に開発することができます。こうして作業の理解度が向上することで、作業ミスの減少や、勘やコツの伝達を容易にし、業務効率化に貢献します。

各種 CAD データと高度なマルチメディア・アプリケーションの融合は、教育や研修をはじめプレゼンテーションやマニュアルなど、さまざまな分野で活用が期待されていますが、これまでは膨大なデータ加工や高い開発コストにより実現が困難でした。XVL と MatrixEngine のコラボレーションは、この課題を解決する画期的なイノベーションとして多くの企業ニーズにお応えすることができるものと確信します。

## **株式会社ネットディメンション 会社概要**

株式会社ネットディメンションは、クリエイターノウハウをシステム化し、特に業務用 3D アプリケーション開発にオーサリングツール技術「MatrixEngine®」を展開する日本の開発メーカーです。空間情報提供 3D システムや、医療用 3D コミュニティ、e ラーニング、Web ゲームなど、各種 3D ソリューション、また組み込みでも 車載やモバイル、半導体など、各種メーカーとの協業を推進しています。

<http://www.net-dimension.com/>

### **【本件に関する問い合わせ先】**

#### **株式会社ネットディメンション**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-3-14 日産研会館ビル 1F

Tel: 03-5733-1611 Fax: 03-5733-1619

E-Mail: a.shinohara@net-dimension.com